

事業シート（概要説明書）

予算事業名	富山県教育記念館費	事業開始年度	昭和53年度		
上位施策事業名	青少年教育施設管理費	担当局・部名	教育委員会		
根拠法令等	富山県教育制度百年記念基金条例	担当課・係名	生涯学習・文化財室		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	主事 澤田		
実施の背景	本補助金は、昭和52年に、富山県の教育制度百年を記念して、教育関係者の寄付及び県助成により富山県教育記念館を設置したことから、昭和53年度から、その管理運営及び創造性豊かな子どもの育成等の事業を支援するため補助を開始したものの。				
目的 (何のために)	(公財) 富山県ひとづくり財団が実施する創造性豊かな人づくりに関する事業及び教育の振興発展に資するための事業を支援				
対象 (誰・何を対象に)	(公財) 富山県ひとづくり財団	対象者数 (全住民に対する割合)			
		人 ( )	% ( )		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 (直営)				
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: )				
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 [ <u>直接</u> ・間接 ] (補助先: 富山県ひとづくり財団 実施主体: 同左)				
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事業概要	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
	【富山県教育記念館補助金】 ・ 補助対象事業: 創造性豊かな子ども育成事業 元気な地域づくり事業 教育記念館事業	14,539 千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト	2023 年度 (予算)	2022 年度 (決算見込)	2021 年度 (決算)	2020 年度 (決算)	
	事業費合計	14,539 千円	14,539 千円	14,539 千円	13,950 千円
	事業費内訳 (2022年度分)	・ 補助金交付額: 14,539千円			
	担当正職員	0.05 人 353.65 千円	0.05 人 368.9 千円	0.05 人 365 千円	0.05 人 363.8 千円
	臨時職員等	0 人 0 千円	0 人 0 千円	0 人 0 千円	0 人 0 千円
	人件費合計	0 人 353.65 千円	0 人 369 千円	0 人 365 千円	0 人 363.8 千円
総事業費	14,893 千円	14,908 千円	14,904 千円	14,314 千円	
財源内訳	国補助金				
	国補助金の内容				
	地方債				
	その他の財源 (使用料、手数料など)	14539 千円	14539 千円	14539 千円	13950 千円
	その他の財源の内容	富山県教育制度百年記念基金 (関西電力株配当)			
	一般財源	354 千円	369 千円	365 千円	364 千円
財源合計	14,893 千円	14,908 千円	14,904 千円	14,314 千円	

事業シート（概要説明書）

予算事業名		富山県教育記念館費			事業開始年度		昭和53年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度		
		「夢の卵」育成事業 （応募数/短歌入門実施数）	件	1,437/4	1,825/4	中止		
		「きらめき未来塾」事業 （応募人数/募集定員）	人	115/68	127/68	97/55		
		「高校生とことん科学セミナー」開催事業 （参加人数/募集定員）	人	12/10	10/15	11/21		
	「学ぼう！ふるさと未来」支援事業 （申請校数/支援校数）	校	7/5	7/5	7/5			
単位当たりコスト	/							
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	創造性豊かな人づくりに関する事業及び教育の振興発展に資するための事業が実施されることにより、県の未来を拓く有為な人材の育成に寄与すること。						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度		
				/	/	/		
				/	/	/		
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<p>&lt;自己評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの発想力や創造力、ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出すためのイベントの開催や、教育記念館において県教育の歴史文化に関する展示を行い人々に県教育のあゆみを伝える等、創造性豊かな子どもの育成や県教育史の広報に貢献している。当該補助金の交付により、県内の人材育成、教育文化の振興につながっているものと考えている。</li> <li>財源である富山県教育制度百年記念基金は、人づくりに関する事業や教育の振興発展に資する事業を実施する当該財団に対する補助金の財源に充当するために設置されたものであり、基金の目的に沿い、これまで適切に補助金を交付してきたところである。</li> <li>各事業の参加者へのアンケート調査や事業結果の分析などにより、より効果的な事業内容や事業実施方法等の検討を行う。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産運用益、貸事務室や貸会議室収入など自主財源はあるものの、県などからの助成なしに事業実施することは困難であるというのが現状。</li> </ul>							
	比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<p>【山口県】公益財団法人山口県ひとづくり財団</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当財団の前身である「財団法人山口県教育財団」は、昭和42年4月に維新百年記念事業として、教職員及び青少年の資質の向上、人材の開発など、教育の振興に係る活動を展開するために設立。</li> <li>様々な分野で活躍できる地域の人材を育成するため、講座・研修会の実施、学習施設の整備、学びのための支援などを行っている財団。</li> </ul>						
特記事項								

委託・指定管理・補助 対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	富山県教育記念館費		事業開始年度	昭和53年度
団体名	(公財)富山県ひとつくり財団			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	富山県教育制度百年記念基金条例および予算の定めによる。			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	0 千円	事業費	14,610 千円
	県からの財政支出金	14,539 千円		千円
	市町村からの財政支出金	0 千円		千円
	委託料・指定管理料	0 千円		千円
	補助金	0 千円		千円
	その他	0 千円		千円
	その他 (教育振興基金運用収入・参加者負担金)	71 千円		千円
総計	14,610 千円	総計	14,610 千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	<p>当財団、先人の英知を次代に引継ぎ、創造性豊かな人づくりに関する事業及び教育の振興発展に資するために必要な事業を行い、県の未来の拓く有為な人材の育成に寄与することを目的に、平成15年4月に設立。理事会・評議員会・事務局等からなる。</p> <p>事業は大きく分けて3つあり、「創造性豊かな人づくり・教育振興事業」では、富山県の未来を拓く創造性豊かな子どもを育成するための事業(「夢の卵」育成事業、きらめき未来塾事業など)や富山県教育記念館における展示事業や富山の教育資料の収集・調査事業等を実施している。「高等教育振興事業」では、県内高等教育機関が中心となって行う教育研究活動や地域連携活動(学会の開催、一般県民向け公開講座・シンポジウムの開催等)等へ助成金を交付し、支援を行っている。「富山県教育記念館管理運営事業」を実施しており、県内教育諸団体が入居する富山県教育記念館の管理運営や会議室の貸出しを行っている。</p>									
	資本金	300,000 千円	役員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	県出資金	297,500 千円		役員	2	0/2	17	1/0	2	1/0
	出資比率	99 %		職員	7	3/1	1	0/0		
団体全体の収支状況	収入		支出							
	国からの財政支出金	0 千円	事業費	49,225 千円						
	県からの財政支出金	39,458 千円	管理費	967 千円						
	市町村からの財政支出金	0 千円	人件費	32,466 千円						
	委託料・指定管理料	0 千円	その他 (物件費)	1,011 千円						
	補助金	0 千円	総計	83,669 千円						
	その他	0 千円								
	その他 (運用益等)	44,564 千円								
総計	84,022 千円	収支差	353 千円							
特記事項	負債総額:10,651,805円 資本総額:1,750,128,280円 利益剰余金(もしくは欠損金): 0円									
財務諸表URL	<a href="https://www.t-hito.or.jp/zaidan/about/document.html">https://www.t-hito.or.jp/zaidan/about/document.html</a>									

○富山県教育制度百年記念基金条例

昭和 53 年 3 月 22 日

富山県条例第 1 号

富山県教育制度百年記念基金条例を公布する。

富山県教育制度百年記念基金条例

(設置)

第 1 条 富山県の教育制度百年を記念して、財団法人富山県ひとつくり財団(昭和 51 年 1 月 27 日に財団法人富山県教育記念館という名称で設立された法人をいう。第 3 条において同じ。)の活動の促進を図るため、富山県教育制度百年記念基金(以下「基金」という。)を設置する。

(平 15 条例 37・平 20 条例 41・一部改正)

(財産の種類)

第 2 条 基金に属する財産は、関西電力株式会社の株式 25 万株及び増資により取得した株式とする。

(運用益金の処理)

第 3 条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、財団法人富山県ひとつくり財団の活動費の助成の財源に充てるものとする。

(平 15 条例 37・一部改正)

(細則)

第 4 条 この条例に定めるものを除くほか、基金の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成 15 年条例第 37 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成 20 年条例第 41 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成 20 年 12 月 1 日から施行する。

富山市千歳町 1 丁目 5 番 1 号

公益財団法人富山県ひとづくり財団

令和 5 年度富山県教育記念館補助金の交付について

令和 5 年 4 月 1 日付け富ひと第 9 号で申請のあった令和 5 年度富山県教育記念館補助金については、富山県補助金等交付規則第 4 条第 1 項の規定により次のとおり金 14,539,000 円を交付します。

令和 5 年 4 月 1 日

富山県知事 新 田 八 朗

- 1 この補助金の交付の対象となる事業は、令和 5 年 4 月 1 日付け富ひと第 9 号で申請のあった令和 5 年度富山県教育記念館事業とし、その内容については、当該申請書記載のとおりとします。
- 2 補助事業に要する経費及び補助金の額は、次のとおりとします。

補助事業に要する経費	金 16,969,000 円
補助金の額	金 14,539,000 円
- 3 補助金の確定額は、補助事業に要した経費の実支出額と補助金の額（変更された場合は、変更後の額）とのいずれか低い額とします。
- 4 富山県補助金等交付規則第 5 条の規定により知事が付する補助金交付の条件は、次のとおりです。
  - (1) 補助事業を中止する場合は、知事の承認を得なければならないこと。
  - (2) 補助事業に係る収支に関する事項を明確にした書類を整備し、補助事業完了後 5 年間保管すること。
  - (3) 補助事業者は、当該補助事業が完了したときは、完了後 10 日以内又は令和 6 年 3 月 31 日のいずれか早い日までに事業実績報告書を提出すること。



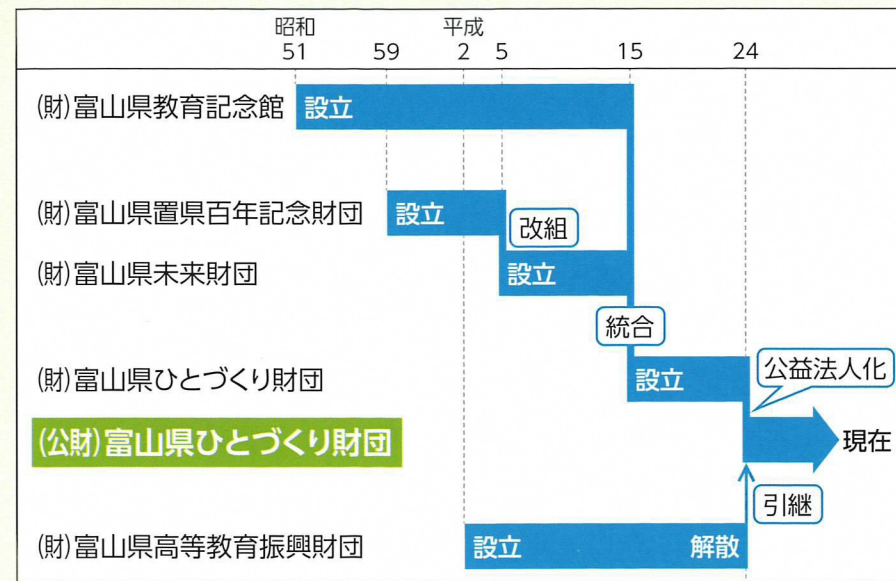
## 公益財団法人 富山県ひとづくり財団とは…

先人の英知を次代に引継ぎ、創造性豊かな人づくりに関する事業及び教育の振興発展に資するために必要な事業を行い、もって県の未来を拓く有為な人材の育成に寄与することを目的として、平成15年に設立されました。

### 《公益財団法人 富山県ひとづくり財団の歩み》

平成15年4月1日 (財)富山県教育記念館と(財)富山県未来財団が統合し、(財)富山県ひとづくり財団が発足

平成24年4月1日 公益財団法人へ移行するとともに、(財)富山県高等教育振興財団の解散に伴い、一部事業を引き継ぐ



## 賛助会員制度

当財団の、明日の富山県を拓くひとづくりの事業にご支援いただける賛助会員を募集しています。

- 【個人会員】  
年会費 1口 3,000円
- 【法人会員】  
年会費 1口 30,000円

## 1 創造性豊かな人づくり・教育振興事業

### 人づくりに関する調査・研究

#### とやまファン倶楽部

富山県をこよなく愛し、全国から富山県を応援している方々のヒューマンネットワークづくりを進めます。

#### 退職教員等活用推進

退職教員や民間企業の人材を登録し、学校現場へ紹介することにより、学校における人材確保と優れた指導実践の継承を図ります。

### 元気で創造性豊かな子どもの育成

#### 「夢の卵」育成

夢に向かってチャレンジしたい意欲のある子どもたちを後押しするため、子どもたちが描いている「夢の卵(将来の夢)」の作文を公募し、優秀者を各分野の専門家のもとに派遣します。

#### きらめき未来塾

子どもたちの発想力や思考力、ユーモアのセンスなど、多様な可能性を引き出すため、各分野の専門家を講師に招いて3つの道場を開催します。

#### 右脳活用道場

右脳を活用し、五感を通じた感覚、感性を活かした芸術的、文化的な活動を通し、「柔軟な表現力、発想力、創造力」を養います。(漫画、絵、詩など)

#### 思考道場

ゲーム感覚で数学的思考方を発展させ、「自分で考える力」「柔らかな思考力」を養います。

#### お笑い道場

お笑いの話術やユーモアのセンスを身につけ、ウィットに富む自己表現力を高めます。(落語、漫才など)



#### 高校生とことん科学セミナー

科学に興味のある高校1,2年生を対象に、最先端の科学に触れ、科学者等とひざを交えて語り合う交流の場を持ち、将来の自分の進路について考えてもらいます。

## 2 高等教育振興事業

富山県内の高等教育機関等が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対する支援を通じて、本県の学術、文化及び産業の発展を図ります。

- ・学会等の開催に対する助成
- ・公開講座・シンポジウム等の開催に対する助成
- ・若手研究者が行う研究・地域課題解決に取り組む研究に対する助成
- ・大学コンソーシアム富山が行う大学連携支援事業への助成
- ・4年制私立大学が行う学生確保や大学活性化のための事業への助成

### 元気な地域づくり活動を行う人材の育成及び支援

#### 「学ぼう!ふるさと未来」支援

将来にわたってふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもの育成を願い、地域と連携して「ふるさと学習」に取り組む学校を支援します。

### すぐれた業績を挙げた個人または団体の支援

#### とやま賞の贈呈

富山県出身者または富山県内在住者で学術研究、科学技術、文化・芸術およびスポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人や団体に対して賞状・奨励金を贈呈して、その活動を奨励します。

### 教育の歴史及び文化に関する調査・展示

#### 常設展示

「教育記念室」や「郷土先賢室」では、時代別のとやまの教育の文献・資料や郷土が生んだ先賢の業績等を展示しています。

#### 企画展示

##### 企画展の開催

郷土の先賢、教育資料、健康スポーツなどについて、調査・研究した成果を展示します。(例「肖像画で見る郷土の先賢」)



##### 恒例展の開催

「子どもの目、自然不思議発見写真展」「児童・生徒によるものづくり展」「アイデアロボット展」「中学校美術展」など、子どもから大人までの個性あふれる作品を展示します。

#### 記念館資料収集

郷土の先賢者やとやまの教育の歴史及び文化に関する文献や資料の収集・整理・保管を行い、各種教育展示で活用します。



## 3 富山県教育記念館の管理運営事業

学校教育関係諸団体が入居し、教育博物館の機能を有する富山県教育の振興・活動拠点「富山県教育記念館」の管理運営を行っています。

大会議室(60名程度)1室と、会議室(20名程度)3室の計4室を貸し出しています。会議や講演会等にご利用ください。

ご利用の  
お問い合わせ  
お申し込み **076-433-2770**  
(受付時間: 祝日除く8:30~17:00)

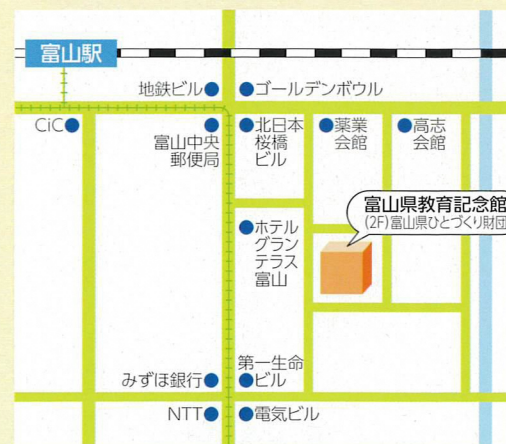
※空き状況などは富山県教育記念館HPで確認できます。



公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1  
富山県教育記念館2階  
TEL 076-444-2000 FAX 076-444-2001  
E-mail : toyama@t-hito.or.jp  
<http://www.t-hito.or.jp/zaidan/index.html>

富山県教育記念館 TEL 076-433-2770  
<http://www.t-hito.or.jp/index.html>



JR富山駅より徒歩7分  
富山市内電車「電気ビル前」または「地鐵ビル前」下車 徒歩1分



公益財団法人 富山県ひとづくり財団



ひとづくり財団では公式Twitterを運用しています。ぜひフォローをお願いします。



## 令和5年度 富山県教育記念館補助金事業計画書

### 1 創造性豊かな子ども育成事業

元気で創造性豊かな子どもの育成に関する事業を実施する。

#### (1) 「夢の卵」育成事業

夢に向かってチャレンジしたい意欲のある子どもたちを後押しするため、子どもたちが描いている「夢の卵（将来の夢）」を公募し、優秀者を各分野の専門家のもとへ派遣する。選考委員会は6月下旬、表彰式は7月下旬に開催する。

- ・短期入門の実施 小学生の部 2名  
中学生の部 2名

#### (2) 「きらめき未来塾」事業

子どもたちの発想力や創造力、ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出すため、各分野の専門家を講師に招いて3つの道場を開催する。

##### ア 右脳活用道場「漫画講座」

右脳を活用し、五感を通じた感覚、感性を活かしたイラスト、漫画を描き、起承転結の題材やストーリーを考えることによって、「柔軟な表現力、発想力、創造力」を養う。

- ・講座の開催 3回

##### イ 思考道場

ゲーム感覚で数学的思考方を発展させ、「自分で考える力」「柔らかな思考力」を養う。

- ・講座の開催 3回

##### ウ お笑い道場

落語を学ぶことによって話術やユーモアのセンスを身につけ、ウィットに富む自己表現力を高める。

- ・講座の開催 4回

#### (3) 「ロボットづくり教室」開催事業(アイデアロボット展関連企画事業)

子どもたちがアイデアあふれるロボットに直接触れたり、自らも製作してみたりすることによって、ものづくりのおもしろさや楽しさを味わうとともに、進路選択の一助とすることを目的として、「アイデアロボット展」開催期間中に「ロボットづくり教室」を開催する。

- ・教室の開催 1回

#### (4) 「高校生とことん科学セミナー」開催事業

科学に興味のある高校1・2年生を対象に、最先端の科学に触れ、科学者等とひざを交えて語り合う交流の場を持ち、将来の自分の進路などについて考えてもらう「高校生とことん科学セミナー」を開催する。

- ・セミナーの開催 1回

#### (5) 子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業

子どもたちが変化の時代を「生き抜く力」を育成するとともに、子どもたちの将来のキャリアの選択肢を増やし、県内における起業家教育の普及を図るために、起業家教育ワークショップ「みらいの起業家マインド育成塾」を開催する。

- ・ワークショップの開催 1回



## 2 元気な地域づくり事業

地域づくり活動を行う個人又は団体の育成及び支援をする。

### (1) 「学ぼう！ふるさと未来」支援事業

ふるさとを愛する子どもの育成を願い、地域と連携して「ふるさと学習」に取り組む学校を支援する。選考委員会は6月、実践報告会は令和6年2月に開催する。

・支援する学校数 5校

### (2) 「富山県をよくする会」支援事業

地域やPTA等と一緒にボランティア活動やあいさつ運動等に熱心に取り組んでいる県内中学校の生徒会やグループを顕彰し、一層の活動を奨励する。

### (3) 機関誌発行事業

財団の事業や記念館での展示事業等の活動内容を機関誌にしてPRする。

ア 財団機関誌「創造」の発行 年1回（3月）

イ 教育記念館「館報」の発行 年2回（11月、3月）

## 3 教育記念館事業

教育の歴史文化に関する文献の収集、保管並びに展示、教育記念館の管理運営を行う。

### (1) 教育記念館展示事業

#### ①恒例展開催事業

富山県教育記念館の耐震改修工事終了後、次の恒例展等を開催する。

ア さんすうワールド展

イ 富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展

ウ 児童・生徒によるものづくり展

エ 富山県造形教育作品展

オ アイデアロボット展

※関連企画として、「高校生ロボコンフェスタ」を開催

カ 富山県中学校美術展

キ 子どもの目、自然不思議発見写真展

ク ミニ企画展の実施（教育研究展示コーナー：1階小ギャラリー）

・児童生徒の各種コンクールのポスター展 等

#### ②常設展示

ア 教育記念室（富山県教育記念館2階）

江戸時代以降の富山県教育のあゆみを時代別に展示。

イ 郷土先賢室（富山県教育記念館3階）

実業や政治、教育、文化芸術など、郷土の発展につくし顕著な業績を挙げられた6名の先賢者の功績等を展示。新たに顕彰する先賢者について展示替え。

### (2) とやまの教育資料収集・調査事業

富山の教育の歴史や文化に関する文献や資料の収集及び整理を行い、富山県教育の一層の発展に資するとともに各種教育展示等で利用する。また、郷土が生んだ先賢者に関する文献や資料の収集・調査を行い、業績等を展示する。

# 令和4年度 富山県教育記念館補助金事業実績報告書

## 1 創造性豊かな子ども育成事業

元気で創造性豊かな子どもの育成に関する事業を実施した。

### (1) 「夢の卵」育成事業

夢に向かってチャレンジしたい意欲のある子どもたちを後押しするため、子どもたちが描いている「夢の卵（将来の夢）」を公募し優秀者を各分野の専門家のもとへ派遣した。また、より多くの子どもたちの夢を応援するため、次点となった作品を佳作として表彰した。

#### ア 選考委員会・表彰式の開催

選考委員会 令和4年6月24日（金）（於 富山県教育記念館）

表彰式 令和4年7月25日（月）（於 高志会館）

#### イ 短期入門の実施

小学生の部 2名（応募数 584 作品）

(ア) 中西 瑠煌斗 さん（黒部市立若栗小学校5年）

夢の卵	山里の自然を活かした水族館の学芸員
入門期間	令和4年8月19日(金)、21日(日)
入門先	魚津水族館

(イ) 水野 紗彩 さん（富山大学教育学部附属小学校6年）

夢の卵	科学捜査を使って犯罪を解決できる警察官
入門期間	令和4年7月29日(金)
入門先	富山県警察本部鑑識課・科学捜査研究所

中学生の部 2名（応募数 857 作品）

(ア) 成安 志真 さん（射水市立小杉中学校1年）

夢の卵	困っている人を支援できる社会福祉士
入門期間	令和4年8月9日(火)、10日(水)
入門先	富山国際大学（呉羽キャンパス）、社会福祉法人フォーレスト八尾会 おわらの里

(イ) 森山 泰成 さん（富山市立芝園中学校2年）

夢の卵	昆虫の生態とその大切さを伝えられる学芸員
入門期間	令和4年8月9日(火)、23日(火)
入門先	富山市科学博物館

### (2) 「きらめき未来塾」事業

子どもたちの発想力や創造力、ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出すため、各分野の専門家を講師に招いて3つの道場を開催した。

#### 【道場の実施】

(ア) 右脳活用道場 24名参加

漫画づくりを通して、自分のアイディアを絵と言葉で表現することをねらいとする道場を開催した。（於 富山県教育記念館）

	開催日	内 容
第1回	7月27日(水)	オリジナルキャラクターを考える
第2回	8月8日(月)	ネームを描く
第3回	8月18日(木)	漫画原稿の制作
第4回	8月22日(月)	漫画原稿の仕上げ

講師：森 みちこ 氏（漫画家）

(イ) 思考道場 28名参加

ゲーム感覚で数学的思考方を発展させ、「自分で考える力」、「柔らかな思考力」を養うことをねらいとする道場を開催した。

	開催日	内 容	場 所
第1回	7月26日(火)	秋山 仁氏 特別授業 「今日からあなたは算数マジシャン」	高志会館カルチャーホール
第2回	8月4日(木)	すごろく、ドット絵、タングラム	富山県教育記念館
第3回	8月12日(金)	暗号、dQます	
第4回	8月19日(金)	一刀切り、仲間集め	

特別講師：秋山 仁 氏（東京理科大学 栄誉教授、数学者）

講 師：西尾 尚起 氏（上市町立南加積小学校 教諭）

窪田 稔彦 氏（砺波市立砺波北部小学校 教諭）

小澤 愛実 氏（入善町立黒東小学校 教諭）

小里 卓己 氏（滑川市立東部小学校 教諭）

神田 将義 氏（高岡市立博労小学校 教諭）

(ウ) お笑い道場 12名参加

落語を学ぶことにより話術やユーモアのセンスを身につけ、ウィットに富む自己表現力を高めることをねらいとする道場を開催した。

	開催日	内 容	場 所
第1回	8月3日(水)	高座（舞台）で自己紹介してみよう	富山県教育記念館
第2回	8月10日(水)	こばなしや大喜利のお稽古で自分を表現しよう	
第3回	8月17日(水)	お稽古の成果を確認して楽しもう	
第4回	8月21日(日)	お笑い大会	高志会館カルチャーホール

講師：安野家 仁楽齋 氏（社会人落語家、フリーアナウンサー）

(3) 「高校生とことん科学セミナー」開催事業

科学に興味のある高校1・2年生を対象に、最先端の科学に触れ、科学者等とひざを交えて語り合う交流の場を持ち、将来の自分の進路などについて考えてもらう「高校生とことん科学セミナー」を開催した。

〔参加者〕 12名

〔開催日〕 令和5年3月12日(日)

〔会 場〕 富山県立大学 射水キャンパス

〔講 師〕 寺島 修 氏（富山県立大学工学部機械システム工学科 准教授）

[内 容] 「未来のクルマを支える技術に触れて、つくって、体感してみませんか？」

## 2 元気な地域づくり事業

地域づくり活動を行う個人又は団体の育成及び支援を行った。

### (1) 「学ぼう！ふるさと未来」支援事業

ふるさとを愛する子どもの育成を願い、地域と連携して「ふるさと学習」に取り組む学校を支援した。

ア 選考委員会・実践報告会の開催（於 富山県教育記念館）

選考委員会 令和4年6月7日（火）

実践報告会 令和5年2月16日（木）

イ 実践校及び実践テーマ

実践校	実践テーマ
富山市立上滝小学校	ふるさとの歴史、自然、人と進んでかかわり、郷土を愛する子供の育成
富山市立音川小学校	ふるさと音川の魅力を未来に繋ぐ ～気付き、考え、主体的に取り組む子供の育成～
射水市立中太閤山小学校	ふるさとの「ひと」「もの」「こと」に積極的に関わろうとする子供の育成を目指して
高岡市立川原小学校	T O G O f o r 統合！ ふるさと川原を未来へつなぐ
南砺市立城端小学校	ふるさとを誇りに思い、未来を切り開く子供の育成 ～ふるさと南砺科（城端学）を通して～

### (2) 「富山県をよくする会」支援事業

地域やPTA等と一緒にボランティア活動やあいさつ運動等に熱心に取り組んでいる県内中学校の生徒会やグループを顕彰した。

ア 表彰式 令和5年1月25日(水) 於 高志会館

イ 表彰団体 19団体

郡市名	表彰団体	郡市名	表彰団体
下新川郡	朝日中学校 生徒会	高岡市	高岡西部中学校 生徒会
黒部市	明峰中学校 生徒会		南星中学校 生徒会
魚津市	東部中学校 生徒会	氷見市	西の杜学園 児童生徒会
滑川市	早月中学校 生徒会	小矢部市	津沢中学校 生徒会
中新川郡	舟橋中学校 生徒会	砺波市	般若中学校 生徒会
富山市	北部中学校 生徒会	南砺市	利賀中学校 生徒会
	藤ノ木中学校 生徒会		福野中学校 生徒会
	上滝中学校 生徒会	県	富山聴覚総合支援学校 卓球部
	八尾中学校 三学年		
射水市	大門中学校 生徒会		
	新湊南部中学校 生徒会		

### (3) 機関誌発行事業

財団の事業や記念館での展示開催等の活動内容を機関誌にし、PRに努めた。

- ア 「創造」の発行 第63号（令和5年3月） 1,200部
- イ 「館報」の発行 第99号（令和4年11月） 1,300部  
第100号（令和5年3月） 1,300部

## 3 教育記念館事業

教育の歴史文化に関する文献の収集、保管並びに展示、教育記念館の管理運営を行った。

### (1) 教育記念館展示事業

#### ア 企画展開催事業

(ア)内容 「郷土の先賢展～とやまを拓いた女性たち～」

期間 令和4年4月13日（水）～6月12日（日）

(イ)内容 「青い目の人形展」

期間 令和4年6月15日（水）～7月3日（日）

#### イ 恒例展開催事業

内容	期間
第20回さんすうワールド展	7月13日(水)～8月28日(日)
第19回子どもの目、自然不思議発見写真展	8月31日(水)～9月29日(木)
第13回児童・生徒によるものづくり展	10月19日(水)～11月13日(日)
第53回富山県造形教育作品展	11月19日(土)～12月4日(日)
第18回アイディアロボット展 (※)	12月10日(土)～1月8日(日)
第33回富山県中学校美術展	1月20日(金)～2月5日(日)

(※) 関連企画として、小学生ロボットづくり教室及び高校生ロボコンフェスタを開催

#### ウ ミニ企画展示

- ・児童生徒の各種コンクールのポスター展

#### エ 常設展示

(ア)教育記念室（富山県教育記念館2階）

江戸時代以降の富山県教育のあゆみを時代別に展示。

(イ)郷土先賢室（富山県教育記念館3階）

実業や政治、教育、文化芸術など、郷土の発展につくし顕著な業績を挙げられた6名の先賢者の功績等を展示（3名展示替え）。

- ・新たな3名：原 信夫、吉田 実、酒井 静女

### (2) とやまの教育資料収集・調査事業

富山の教育の歴史や文化に関する文献や資料の収集・調査及び研究を行った。

#### ア 郷土先賢専門部会（専門員7名）

郷土が生んだ先賢者に関する調査・研究

第1回 令和4年6月27日（月）、第2回 令和4年8月22日（月）

第3回 令和4年11月30日（水）

イ 教育資料専門部会（専門員3名）

- より開かれた展示・館利用を目指し収蔵資料の価値付けを図る調査・研究
- ・資料台帳の整備・データベース化
- ・常設展示用ガイドブックの開発を進めた。

ウ 収蔵資料の公開・閲覧事業ならびに広報の実施

(ア) 富山市民大学講座 現地学習会にて公開・閲覧

開催日：令和4年9月26日（月）

参加者：31名

内 容：教育記念室の見学および解説

郷土先賢室（自由見学）

収蔵資料の解説および閲覧

「明治以降、終戦直後までの教科書（国語・修身）」54点

「昭和20年代後半から40年代の小学校国語教科書」約40点

(イ) 常設展示の紹介・PR

- ・北日本放送 「いっちゃんKNB」での紹介

放映日：令和4年11月2日（水）

番組名：「LIVEで☆学びまショー」

内 容：記念館、2階 教育記念室の紹介

- ・富山シティエフエム

放送日：令和5年3月13日（月）～17日（金）

番組名：「ものしりとやま学」

内 容： 記念館、1階～3階 各常設展の紹介